

●復活後第一主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第三十二編」

いかに幸いなことでしょう

背きを赦され、罪を覆っていたいただいた者は、

いかに幸いなことでしょう

主に咎を赦えられず、心に欺きのない人は、



## 死よりも強い神の愛

今日はイースター、主イエスの復活を記念する日です。二千年前の出来事を、今わたしたちが喜ぶのには理由があります。

主は、わたしたちの罪が赦されるように、十字架の上で死なれました。その主の復活は、神さまがその死をよしとしてくださったことです。だから罪の赦しは確かです。わたしたちは罪を赦されて、今すでに神さまの子どもとして生きられるのです。

聖書は主イエスの復活を初穂と呼びます。初穂は畑で最初に結んだ実で、必ずそれに続いて結ぶ実が現れます。主イエスはわたしたちの先駆けとして復活されたのです。だから、罪を赦されたわたしたちも、必ず復活させていただけるのです。

主イエスの復活から二千年経ちましたが、まだ続く復活は起こっていません。でも聖書には、神さまにとって千年は一日のようだと書いてあります。だとすれば、主の復活からまだ二日しか経っていません。二番目の復活が三日目か、四日目かわかりませんが、わたしたちはその時を待ちます。

主は復活を「次の世に入って」起こることだと言われました。今は強い者がこの世を支配し、悪が横行している時です。こんな世に復活してもよいことはありません。

次の世には神さまが見えるお姿でわたしたちと共に住んでください。わたしたちの祈りが実現して、御国が到来し、御心が世界を支配します。この世からあらゆる悪が消え去り、支配者たちも消え去って、真の平和が訪れるときです。そういう世の中に、わたしたちは復活するのです。

復活は死者のよみがえりです。でもその内実は、新しい創造です。神さまがわたしたちを新しく造つてくださるのです。ラザロのように、主イエスに復活させていただいた人がいますが、それは完全な復活ではありません。ラザロも他の人も、また死んだからです。本当の復活は、今の体ではなくて、神さまが新しい体で、わたしたちをもう一度造つてくださることです。

死んだ人の復活は見られませんが、新しい人の誕生は毎日起こっています。そう考えると、復活は不思議なことではありません。

主イエスが復活されたのは、神さまが、愛する主イエスを、死んだままにしておかれなかつたからです。もし神さまが、主イエスと同じようにわたしたちを愛してくださるなら、わたしたちを消えたままにはなさらないでしょう。復活は、死よりも強い神さまの愛によって起こるのです。

## 《ジュネーブ教会信仰問答》

「ジュネーブ信仰問答」と知られているが、正式には「ジュネーブ教会信仰問答」である。カルヴァンが宗教改革を進めるに際し、まず教会規則とともに、フランス語58項目からなる「信仰の手引」（1537年）を用意した。その手引は新しく誕生した改革派教会を教育する目的で、すでに書かれていた「キリスト教綱要」を要約したものであったが、問答形式をとつていなかった。その後、彼はジュネーブを追放され（1538年）、ストラスブルヘへ赴きそこで約3年間フランス人教会の牧会をした。そこではすでに、カーピトやブツァーという改革者の手に成る問答形式の信仰問答によるカテキズム教育がなされていた。カルヴァンは彼らの影響を受け、1541年に改革者として再びジュネーブに迎えられた時、早速信仰問答書を作成した。それが1545年フランス語版とラテン語版で出版されたジュネーブ教会信仰問答である。

— 新キリスト教辞典のちのことば社、1991年）546,547頁

### 第一聖日

問一 人生の主な目的は何ですか。

答 神を知ることです。

問二 どんな理由であなたはそういうのですか。

答 神はわれわれの中にあがめられるためにわれわれをつくり、世に住まわせられたのでありますから。また、神はわれわれの生の源でありますから、われわれの生を神の栄光に帰着させるのはまことに当然であります。

問三 では人間の最上の幸福は何ですか。  
答 それも同じであります。

問四 何ゆえそれを、最上の幸福というのですか。  
答 これを欠くなら、われわれの状態は野獣よりも不幸であるからであります。

問五 以上によって、神に従って生きないほど大きな不幸はほかにないということがわかります。  
答 まことにそうであります。

問六 では、神についての真の正しい知識は何ですか。  
答 神があがめる目的で神を知るときであります。

問七 神を正しくあがめる仕方は、どんなのですか。  
答 それは神に全信頼をおくこと、みこころに従いつつ神に仕えること、われわれのあらゆる窮乏の中から、救いとすべての善きものを神の中に探し求めつつ神に祈ること、そしてすべての幸福はただ神のみから来ることを、口で認めると同様に心で認めることでもあります。

外山八郎訳（新教出版社1979年）使川

## 《今日のお知らせ》

○ 本日の礼拝の中で、新年度の役員任職式を行います。

○ 礼拝後、地下ホールで讚美集会和教会員懇談会を行います。讚美歌をお持ちの上、ご参加ください。

○ 二〇二四年度の聖書通読表を作りました。事務所のカウンターにありますので、是非ご活用ください。

## 《ぶどうの会より》

本日は懇談会があるため、ぶどうの会はお休みです。

2024年度

教 会全体課題

聖書の御言葉に生きる。



《役員会より》

四月二十八日は四月教会総会です。昨年度の報告を聞き、各会計の決算を承認します。教会員の方はご出席ください。

《教会事務所より》

四月総会資料の作成の時期を迎えました。ご担当の方は本日までには昨年度の報告を事務所までお送りください。

《今後の予定》

- 四月九日 附属幼稚園入園式
- 四月二一日 定例役員会
- 四月二八日 四月教会総会

《今日の子ども礼拝》

説教 「み言葉が実を結ぶとき」  
聖書 マタイ13章1〜3節  
説教者 吉村和雄名誉牧師

《次週の礼拝》

●子ども礼拝(午前9時20分・地下ホール)  
説教 「七の七十倍までもゆるしなさい」  
聖書 マタイ18章21〜35節  
説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝(午前10時30分)  
讚美歌 147番 228番  
説教 「苦しみと慰めの共同体」  
聖書 IIコリント1章3〜7節  
説教者 吉村和雄名誉牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 146番 358番  
説教 「神の前に正しいかどうか」  
聖書 使徒4章1～22節(新約 P.219)  
司式 山下 純一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 宮間 彰広 牧師

前奏曲「キリストはよみがえり」 J.S.バッハ

### ○ 讃美歌146番

1. たたかいおわりて みさかえうけたもう  
主をほめたたえよ ハレルヤ
2. いのちのきみこそ おわりのあだなる  
死に勝ちましけれ ハレルヤ
3. きよけきあしたに 陰府よりのぼりて  
この世を統べたもう ハレルヤ
4. 主の死に生かされ 御傷にいやさる  
よろこびたたえよ ハレルヤ

アーメン

### ○ 聖歌隊による讃美

「おどろくな」 M.ランク 作曲  
十字架につけられし ナザレのイエスを  
汝(なれ)ら 尋ねれば  
すでによみがえりて ここにいまさず  
見よ こかなり おさめし所は  
けれど行きて告げよ 弟子たちとペテロとに  
汝(なれ)らに先立ち 行きたもう  
ガリラヤに まみえたまわん  
み言葉のごと

### ○ 讃美歌358番

1. ころみの世にあれど みちびきのひかりなる  
主をあおぎ雨の夜も たからかにほめうたわん
2. まことなるみことばよ まよえるをひきかえし  
めぐみもて子よと呼び わがうちに住みたもう
3. 富も名もなにかあらん わがうちの宮にます  
あがないのイエスこそ まさりたるたからなれ
4. 世のちからせまれども 死に勝ちし主によれば  
やすらげきよるこびは わがむねにみちあふる

アーメン

聖餐曲「アニヌス・デイとサンクトゥス (小ミサより)」

G.フォーレ

後奏曲「(キリストはよみがえり)による

ジャズ風トッカータ」

カール=フリード・リヒアルバス

※ 礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。